

# 女性チャレンジ応援拠点だより 2020 11月

## 〇●〇コラム【秋の実りは新年の糧】〇●〇

秋も深まってきました。紅葉もたのしみになってきましたが、今年は「コロナ」対策を講じつつの行楽シーズンです。どこの名所も人であふれた風景から一変しますが、落ち着いた紅葉見になりそうです。

そうこうして「コロナ」で世界が一変した 2020 年も終わり、ひと月半もすると新しい年です。2021 年がすぐそこに控えています。11 月から 12 月にかけては、ゆく年を見直し、来る年の<兆し>を探し、そういうタイミングです。

そこで今月の「チャレンジが実る流儀〈ケーススタディ〉」は、

### ～ケース 8『2021 年の「計」、秋の事始め』～

A さんは日頃からタイムマネジメントに腐心しています。市販の手帳やツールは使い勝手がわるいからと、ほとんどは自分でオリジナルのフォームでつくり、直近のやるべきことから、晩年の過ごし方まで想定して、チェックできるようにしてあります。市販のもので唯一使っているのは、裏表半年ずつの一枚物がジャバラ式に折りたたんであるイヤープラン。9 月下旬に販売されるとすぐに買い求め、当年の 12 月に新年の 1 月がくるように繋ぎ合わせるのだとか。新年がすぐそこだということ意識づけるためと言います。

いつも持って歩くのはこのイヤープランなので、買った段階で例年の予定や行事は書き入れ、先々のことですが、ダブルブッキングを避けるようにする。その他、二十四節気など個人的な関心事があって、書き入れていくそうで、けっこう時間をかけています。でもご本人いわく、この時間がいいそうです。来る年を展望して、おのずと、仕事と人生をちょっと俯瞰することになるわけです。

地域の中で障がいのある人もない人も共に交流する場づくりに取り組んでいる B さんは、地域外でも活動の機会を増やそうと、ワークショップの開催をめざしています。できれば来年の 3 月までに一度、無理なら新年度には必ず実現させたい。そう考えた B さん、ある機関にワークショップの企画提案書を出すと決め、目下、企画案のブラッシュアップに専念、「11 月末または 12 月初旬までには提出して、必ず実現させます！」と自身を叱咤激励されていました。

「コロナ」で今年春の開業を見送った C さんは、来年のチャレンジを目指し、この秋は「勉強」に励むと決めました。「自粛」の間にすでにチャレンジして活躍している人たちの情報収集をするうち、自身の知識不足、スキルの弱さに気づいたそうです。ご本人いわく、「今年見送ることになったのは、かえってよかったです」。

その他、あえて小旅行に出て、ゆっくり考える時間をもつという方もいらっしゃいます。人それぞれやり方はちがっても、先々を見越して動いているのが共通点。

日常に追われて、なかなかそうできていないなあと感じられたら、どうぞ「女性チャレンジ応援拠点」へ足を運んでください。とっておきの<話せる>空間で、みなさんのお話をうかがい、背中をちょっと押しませす。ご利用をお待ちしております。



## 女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央 4 階  
電話&ファックス：06-7659-9640  
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp  
運営：大阪市立男女共同参画センター中央館

※開室日 ※日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休室

火	水	木	金	土
10:30 ～ 12:30	18:00 ～ 20:00	13:00 ～ 15:00	10:30 ～ 12:30	13:00 ～ 15:00

※開室時間内は自由に入出入りいただけます。  
お気軽にお立ち寄りください。

